

令和 6（2024）年度事業報告

公益財団法人阿蘇グリーンストック

一、各事業報告

1 自然保全事業（公 1）

【草原保全活動】

（1）野焼き・輪地切り支援活動

地元の高齢化、後継者不足により草原維持が困難となっている牧野への野焼き・輪地切り・輪地焼きの支援活動及び各種研修会に取り組みました。

安全管理については昨年度末からはじまった難燃性作業服の貸与が進み、ほぼすべての参加者に難燃性作業服を着ていただくことが実現しました。過年度より取り組んでいる、現場での作業前の注意事項の伝達等、参加者へ周知徹底とともに安全性が高まり、ボランティア参加者の大きな事故は発生しませんでした。

年間の支援牧野は 66 牧野で、延べ 2,311 名（昨年度 2,281 名）名のボランティアの参加がありました。実参加者の人数は、今年度は野焼きのタイミングで天候不順が続き、2 月 23 日に阿蘇市（南山）及び西原村の一斉野焼き（計 11 牧野）、3 月 9 日に北外輪の一斉野焼き等（19 牧野）など大人数の派遣要請を受けることが多くなりましたが、おおむね地元牧野からの派遣要請に応えることができました。

野焼き再開については、南阿蘇村の中郷・竹崎及び下碓牧野で取り組みました。野焼き支援活動の詳細は下記のとおりです。

① 輪地切り・輪地焼き支援活動実績

- ・実施時期：2024 年 9 月 1 日～2024 年 12 月 8 日
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 43 牧野、延べ 86 回
- ・派遣人数：延べ 1,083 名

阿蘇市	21 牧野、計 598 名
南小国町	7 牧野、計 144 名
高森町	4 牧野、計 91 名
南阿蘇村	6 牧野、計 174 名
西原村	4 牧野、計 67 名
産山村	1 牧野、計 9 名

② 野焼き支援活動実績

- ・実施時期：2024 年 5 月 3 日～2025 年 4 月 12 日
- ・実施場所：阿蘇地域市町村 57 牧野、延べ 80 回
- ・派遣人数：延べ 1,228 名

阿蘇市	28 牧野、計 596 名
南小国町	9 牧野、計 216 名
小国町	1 牧野 計 40 名
産山村	1 牧野 計 9 名
高森町	3 牧野、計 108 名
南阿蘇村	8 牧野、計 131 名
西原村	6 牧野、計 103 名
阿蘇市/南阿蘇村（草千里）	計 25 名

（２）研修会の開催等

野焼き支援ボランティア初心者研修会を５回開催し会員登録者数は２０２４年５月現在で１,２６５名（２０２４年：１,０３５名）で昨年度比で２３０名の大幅増となりました。さらに企業・団体からの出張研修の依頼も増加しており、１３件の出張研修を行いました。その結果例年以上に会員数が増加しました。２０２３年度 ９６４名に対して ３０１名の増加となっており、普及啓発の効果が顕著に表れています。

初心者研修会		7/28（日）	69 名受講（45 名入会）
		12/15（日）	39 名受講（28 名入会）
		12/21（土）	26 名受講（20 名入会）
		1/12（日）	57 名受講（45 名入会）
		1/18（土）	67 名受講（50 名入会）
出張研修 （臨時含む）	スマイルクリエイト	8/13（火）	6 名受講
	博多阪急	8/15（木）	計 23 名受講 （計 12 名入会）
		8/16（金）	
	熊本県地域振興局	10/4（金）	22 名受講
	日本旅行	12/24（火）	計 13 名受講 （計 3 名入会）
		1/21（火）	
	明治安田生命	1/18（土）	13 名受講（12 名入会）
	博多阪急	1/19（日）	2 名受講（2 名入会）
	南倫理法人会	1/24（金）	13 名受講（2 名入会）
	ソニーSM	1/25（土）	10 名受講（10 名入会）
	福岡 21 の会	2/6（木）	16 名受講（12 名入会）
	SYSKEN	2/13（木）	20 名受講
	JAL	2/14（金）	23 名受講（1 名入会）
	くまもと 21 の会	2/18（火）	12 名受講（12 名入会）
	鶴屋百貨店	2/20（木）	13 名受講（12 名入会）

また、各種野焼き・輪地切り支援活動の安全管理のための講習会、研修会等を開催したほか、地元牧野組合に対して野焼き後継者育成支援を実施しました。

・刈払機安全講習会

2024 年 8 月 10 日（土）受講者 32 名

2024 年 8 月 18 日（日）受講者 28 名

2024 年 8 月 25 日（日）受講者 33 名

・リーダー全体会（リーダー数 62 名）

2024 年 4 月 28 日（日）出席者 40 名

2024 年 8 月 24 日（土）出席者 43 名

2024 年 12 月 14 日（土）出席者 42 名

2025 年 1 月 25 日（土）出席者 48 名

・ボランティアリーダー養成研修会

（リーダーになるための研修）

2024 年 7 月 7 日（日）受講者 6 名

2024 年 7 月 9 日（火）受講者 4 名

・野焼き後継者育成支援

対象牧野・地区：5 団体（各団体 1 名ずつ計 5 名の火引き者を育成）

三久保（阿蘇市）

西小園（阿蘇市）

下中原（南小国町）

黒川（南小国町）

岸野・堀渡（南阿蘇村）

支援内容：火引き研修会（座学・実地）の開催及び安全支援品（動力噴霧機等）の支給

（３）活動時のボランティア宿泊支援

活動時のゆたっと村宿泊に関しては低価格（一般ボランティア 1 泊 700 円＋光熱費）にて提供し、遠方より参加の場合や、ボランティア開始時間が早いため、移動中の自動車事故防止のためにも利用していただけるようしています。今年度は延べ 255 人の利用がありました。

（４）森づくり活動

企業・団体と連携した森づくり活動を下記の通り行いました。

・西陵ロータリークラブ（2023. 6. 11）下草刈り

・東京応化工業（2023. 5. 10、7. 26）下草刈り・枝打ち

（５）普及啓発活動

野焼き支援活動の情報発信及び草原保全への普及・啓発活動について、下記の通り計 10 回（のべ 228 日）開催しました。その結果、また、新聞への連載や講演活動なども積極的に実施しました。昨年度から実施している博多阪急に加え、阪急うめだ本店、大丸福岡天神店といった百貨店を中心に企業の協力も得ながら普及啓発活動を実施することができました。

1) 普及・啓発のための都市部でのパネル展の開催

- ①実施日 2024 年 4 月 17 日～5 月 1 日（15 日間）
場 所 パレアロビー9 階
- ②実施日 2024 年 6 月 1 日～6 月 30 日（30 日間）
場 所 熊本県東京事務所
- ③実施日 2024 年 6 月 19 日～10 月 5 日（108 日間）
場 所 熊本県大阪事務所
- ④実施日 2024 年 8 月 17 日～8 月 18 日（2 日間）
場 所 グランメッセ熊本「科学の祭典」
- ⑤実施日 2024 年 10 月 1 日～10 月 31 日（31 日間）
場 所 熊本県庁地下通路
- ⑥実施日 2024 年 10 月 9 日～10 月 15 日（7 日間）
場 所 大丸福岡天神店 地下 「阿蘇草原再生プロジェクト」
- ⑦実施日 2024 年 12 月 4 日～12 月 11 日（8 日間）
場 所 熊本県庁地下会議室
- ⑧実施日 2024 年 12 月 13 日～12 月 25 日（13 日間）
場 所 モンベル南阿蘇店 2 階サロン
- ⑨実施日 2025 年 1 月 15 日～1 月 21 日（7 日間）
場 所 博多阪急 1F メディアステージ
※トークショー及びワークショップも併せて開催
- ⑩実施日 2025 年 3 月 5 日～3 月 11 日（7 日間）
場 所 阪急うめだ本店 8F GREENAGE コミュニティパーク
※トークショー及びワークショップも併せて開催

2) ASO 草原フェスティバル 2023 の開催

日時 2023 年 11 月 25 日（土）午前 10 時～午後 15 時
場所 草原保全活動センター敷地内及び館内
参加者 約 1,300 名（内ボランティアスタッフ 50 名）

以下のような熊本県、環境省、世界農業遺産等の関係団体にもブースを出していただき様々な関係者とともに草原関係の事業等を普及啓発することができました。

- ・阿蘇世界文化遺産登録推進協議会の取り組み紹介
- ・阿蘇地域世界農業遺産推進協会の取り組み紹介

- ・阿蘇地域林業担い手対策協議会
- ・一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- ・東海大学の標本展示
- ・野焼き支援ボランティア活動の紹介
- ・茅事業の取り組み紹介

また、下記のような各種体験について実施し、多くの参加者に楽しんでもいただきました。

- ・クラフト体験（5メニュー）
- ・あか牛炭火焼のふるまい（200人分）
- ・ジェットシューター体験
- ・マルシェ（22件）・フリーマーケット（4件）
- ・Vientoによる芝生広場でのLIVEコンサート（30分）
- ・各ブースを回るスタンプラリーの開催

※上記体験や実行委員会のブースをまわって4つスタンプを集めると、ガラポン抽選会に参加できる仕組みで実施。スタンプカードは総合受付で配布した。

財団の賛助会員を中心に景品の出品依頼を行い、熊本トヨタ自動車、松合食品、日本航空株式会社、ネッツトヨタ熊本株式会社等17社から景品の供与を受け、外れくじなしでガラポンを実施しました。

3）講演会等への登壇・メディアへの露出

企業や団体から阿蘇の草原についての講演依頼を受けることが増え、2024年度は計20件の講演依頼を受けました。また、新聞への連載（13回）も行ったほか、草原保全に関する11件の新聞への記事露出や野焼きや万博関連等でのTVへの露出等もあっています。

①講演

民間企業：アクセンチュア、ノースフェイス、エルメスジャパン等
行政・団体等：対馬里山繁栄塾、真庭市、江府町、労働者福祉協議会
くまもと県民カレッジ、阿蘇地域振興局、高森中央小学校 等

②連載：＜一筆＞ 全13回：2024年4月3日～6月26日

③新聞・TV等：草原保全、万博への茅出荷、日本自然保護大賞受賞等多数紹介いただいた。

4）草原ボランティアの開催

今年度は企業での希少種保全活動ツアーと、阿蘇の草原を舞台として「環境再生」を学ぶ1泊2日の一般募集型旅行を企画した。参加者は草原保全のための知見を学びツアー後も阿蘇の草原保全の「関係人口」になることを目指しました。

■GREENZ との共催のリジェネラティブツアーの実施

【第1回】

2024年8月25日（土）～26日（日）

【第2回】

2025年2月13日（土）～ 14日（日）

環境系WEBメディアのGREENZ との共催で「阿蘇の草原の環境/社会価値をPRする」「阿蘇の草原保全のための関係人口を育てる」ことを目的に2パターンのツアーを企画し首都圏および九州を中心にのべ16名の方に参加いただいた。

参加者はいずれも阿蘇の草原保全に関心のある20代～50代で、1泊2日の座学や体験を含む行程をとって阿蘇草原の歴史や社会的・環境的価値について学びを深めた。また、昨年度の参加者及び今年度の参加者が阿蘇に再度来訪し自身の取り組み(自社のCSR活動やビジネス)として発展させる動きも出ています。

■企業のボランティアリズム

2024年11月16日（土）

活動内容 阿蘇の希少種保全活動（草の除去作業）

企業名 伊藤園

参加者は、一般募集と企業の社員とご家族 約40名

阿蘇の草原保全活動について、阿蘇草原保全センターでレクチャーを受けたあと、阿蘇市の木落牧野に移動し、ボランティアが刈っておいた草を、ボランティアリーダーの指導で、輪地に寄せる体験活動を行った。子供たちも含めた参加者で、約2キロの輪地を完成させました。

5) 万博関係の取り組み

博覧会協会及び大成建設と協力して阿蘇の茅を大阪・関西万博に出荷したほか、万博内での阿蘇の茅の紹介について企画を実施しました。また、熊本県の補助事業を活用して、高森町にある「阿蘇茅葺工房」をはじめ広島県、兵庫県の茅葺職人にも協力いただき、茅のインテリアを作成しました。3月に行われた阪急うめだ本店のイベント等で活用し普及啓発を図ったほか、一部は万博会場で展示されています。また、2025年9月に実施される万博内での熊本県の出展ブースにも活用される予定です。

※ 公1の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
活動会員受取会費	1,899,500	野焼き支援ボランティア会費
自然保全事業収益	24,106,777	草原保全システム（1145.6万）、 県サポータ認証事業（430.3万）、万博 茅事業（375.5万）、県草原セラビー事 業（224.6万）世界農業遺産推進協会

		(40 万)、希少種保全 (65 万) 自然観察会 (49.4 万円) 等
ゆたっと村利用事業収益	174,700	ボランティア活動時の宿泊費
受取補助金等	33,236,022	熊本県補助金 (2467.3 万)、阿蘇草原再生募金助成金 (200 万) ヒゴタイ基金 (200 万) 大東建託みらい基金 (100 万)、イオン環境助成 (67 万) 多面的機能支払 (489.2 万)
受取寄付金	5,258,976	グリーンコープ、熊本トヨタ、松合食品、コカ・コーラいろはすプロジェクト、SYSKEN、田園空間博物館、村山牧野、杉本建設、熊阿建設、ローカルゲイン、ほか個人より
雑収入	5,443,417	野焼き賠償保険の市町村負担金・視察研修費、講演料等
収入合計	70,119,392	

人件費計	15,861,414	
物件費計	61,159,691	
支出合計	77,021,105	

(収入) 70,119,392 円－ (支出) 77,021,105 円 = △6,901,713 円

2 自然体験・農業体験学習事業 (公2)

(1) 農村体験型修学旅行受入事業 (ファームステイ)

農村生活や農業体験などを通して農業・農村について学び、自然や人との触れ合いを大切にする心を育むことで青少年の健全な育成を目指して取り組んでいます。コロナ禍により落ち込んだ受入数も回復を続けており、昨年度を越える受け入れ実績となりました。2023 年度の実績が延べ 521 人だったのに対し、2024 年度は 1115 人となりました。また、インバウンドの受け入れも増加しており、主に台湾からの受け入れをはじめ外国人を 154 名受け入れました。詳細は以下となります。

また、受入れ家庭の確保にも努め、今年度は 15 件の受入れ家庭が増加し、阿蘇地域全体で 91 件の家庭にファームステイの受入れをいただいています。しかしながら大規模校 (200 名以上) の受け入れを安定的に実施するには、さらなる受け入れ家庭の確保が求められていることから、受入れ家庭の確保に引き続き努めます。

表. 2024 年度ファームステイ受入れ実績

	実施日		学校名	地域	内容	実数	延べ人数
1	5月16日	木	岡山市立福浜中学校	岡山県	1泊3食1体験	172	172
2	5月24日	金	オオサカシヅ ヒガシヨリチュウウガッコウ 大阪市立東淀中学校	大阪府	1泊3食1体験	196	196
3	6月5日	水	和禾(ホーホー)聚落	台湾	1泊2食1体験	23	23
4	7月28日・29日	日・月	京都先端科学大学附属中学校	京都府	2泊5食2体験	21	42
5	9月8日	日	桃山学院中学校	大阪府	1泊2食1体験	116	116
6	9月26日	木	跡見学園中学校	東京都	1泊2食1体験	88	88
7	10月5日	土	高校生(2校合同)	シンガポール	1泊2食1体験	29	29
8	10月16日	水	オオサカフジツ カタノゴウトウガッコウ 大阪府立交野高等学校	大阪府	1泊3食2体験	233	233
9	10月26日・27日	土・日	九州動物学院	熊本県	2泊6食3体験	57	114
10	11月3日	日	国立虎尾高級中学校	台湾	1泊2食1体験	67	67
11	2025年 2月20日	木	高雄市立新莊高級中学校	台湾	1泊2食1体験	35	35
	合計					1037	1115

(2) 環境教育及び農業体験事業

阿蘇の将来を担う地域の子供たちを対象とした環境教育を下記の通り行いました。阿蘇の草原、火山、地域文化などについて学ぶ機会を提供し、体験活動を交えることで理解を深められるよう取り組んでいます。また、野焼き支援ボランティアの方々や関係団体と連携を図り、学習内容に合わせて適切にコーディネーター業務(連絡・調整・学習の準備など)を行いました。今年度は阿蘇郡市内の16小学校570名、3中学校170名、3高校215名が草原での体験学習や室内での座学を通して、阿蘇の草原が人々の暮らしや産業と結びつきながら維持されてきたことを学びました。

草原環境・体験学習の実績は以下の通りです。(22校、955名受講)

- ・阿蘇市 阿蘇小学校5・6年生、阿蘇西小学校3・4年生
一の宮小学校4年生、内牧小学校4年生、波野小学校1～6年生
阿蘇中央高校1・3年生
- ・南小国町 りんどうヶ丘小学校3・4年生
市原小学校4年生
- ・小国町 小国小学校3年生
- ・産山村 産山学園義務教育学校4年生
- ・高森町 高森中央小学校4年生
高森東学園義務教育学校4年生
高森高等学校1年生
- ・南阿蘇村 白水小学校3年生、久木野小学校4年生、南阿蘇西小学校3年生
- ・西原村 山西小学校3年生、河原小学校3年生
- ・大津町 大津高校1・2年生希望者

(3) ゆたっと村での体験事業

今年度はゆたっと村の体験交流施設の２階部分の窓及び断熱。１階の断熱及び収納スペース、土間へのミニキッチンの導入等のリフォームを実施しました。実施にあたっては観光庁の補助金を活用しました。これで３年連続でゆたっと村の改修を実施しています。また改修に合わせ、ゆたっと村のホームページとパンフレットをリニューアルしました。

公２の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
村民受取会費	150,000	村民会費
自然体験・農業体験学習事業収益	4,745,943	民泊・体験受け入れ（413.6万）、ヒゴタイ基金（36万）、阿蘇市公園管理委託費（15万）高森高校体験事業（10万）
ゆたっと村体験事業収益	141,460	
補助金	4,000,000	観光庁（400万）
雑収入	30,920	農機具賃借料等
収入合計	9,068,323	
人件費計	5,965,329	
物件費計	4,298,209	リフォーム費用
支出合計	10,263,538	

（収入）9,068,323 円 － （支出）10,263,538 円 ＝ △1,195,215 円

３ 調査・研究事業（公３）

阿蘇市、熊本県、環境省から希少な植物が分布する場所の保全調査及び草刈り等の保全作業を引き受けました。また、希少種保全等を目的とした各種研究事業を自主的に実施しています。、それに対して熊本県や草原再生協議会から活動助成をいただきました。

公３の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
事業収入	1,594,968	阿蘇市 42.3 万、熊本県 56.5 万、農業遺産 45 万、ハナシノブ（環境省）15.6 万 若手研究 49 万、草原再生募金 11 万
助成金収入	2,350,000	生物多様性推進交付金 200 万、さとう農園 22 万、草原再生募金 13 万
収入合計	3,944,968	
人件費計	1,942,026	
物件費計	2,542,115	
支出合計	4,484,141	

（収入）3,944,968 円 － （支出）4,484,141 円 ＝ △539,173 円

4 あか牛オーナーへのあか牛肉販売事業（収 1）

阿蘇の草原を守るためには、阿蘇の草原を利用した畜産業の発展が最も有効な手段となります。独自の事業として阿蘇のあか牛の増頭又は維持に向けた畜産農家への支援のために県内外の方へオーナーへの参加を呼び掛けました。2023 年度から制度改正を行い、これまでよりも農家支援に重点を置いた制度に変更し、30 万円のオーナーからの支援に対し、26 万円のお肉をお礼としてお返しし、3 万円を農家への支援金としてお渡しするようにしました。

受入れ農家にはメリットも多い一方、オーナー制度の魅力が下がったとみられる部分もあり、オーナー数は 32 件と昨年度より 8 件減少しました。一方で、今年度はオーナー制度開始 20 周年ということもあり、宮本シェフを招いて記念交流会を実施し、熊日新聞に記事を掲載いただきました。その結果もあり、オーナー希望者も 6 件あり、また 2025 年度も新規オーナー希望者もいることから、制度の意味合いを理解してくださる方を中心にオーナー数も回復する可能性があると考えています。

受入牧野のエリアに関しては、阿蘇市 5 牧野、南小国町 2 牧野、南阿蘇村 4 牧野、高森町 5 牧野となっています。

① あか牛オーナー制度について

2024 年度新規契約オーナー数	8 名（あか牛 5 頭）
2024 年度のオーナー数	32 名

② あか牛肉販売について

あか牛オーナー制度では、年間 5 万円を目途にオーナーの申込みに応じてあか牛肉を 5 年に亘ってお届けするものです。こちらは例年とほぼ同様の事業収益がありました。また、草原で放牧されたあか牛を一頭買いし、精肉をオーナー及びボランティア会員等へ販売するあか牛一頭買いプロジェクトを実施しました。年末に 97 人の方が購入され事業としても昨年度を超える収益を上げることができました。

収 1 の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
活動会員受取会費	83,000	オーナー・農家より
事業収益	3,720,578	あか牛肉の販売
雑収入	105,550	運送費、保冷箱、保冷剤代オーナー負担
収入合計	3,909,128	

人件費計	126,120	
物件費計	3,371,915	
支出合計	3,498,035	

（収入） 3,909,128 円 － （支出） 3,498,035 円 ＝ 411,093 円

5 食事提供及び農産物の販売等事業（収2）

一般の団体や個人のゆたっと村の宿泊利用、あか牛肉の利用普及のためのバーベキューの提供、また、農産物の販売などを行いました。前年に引き続き BBQ の売り上げが増えたほか、特定の事業者にも農産物を販売する仕組みもできたことから、農産物の売上も昨年比で10万円ほど増加しました。また、観光庁の補助金を活用してあか牛（外モモ）や高森町のれいざんの酒粕を活用したローストビーフを開発しました。宿泊利用についてはリフォーム期間に受け入れができなかったこともあり昨年度よりも微減となりました。

① 宿泊での利用は以下の通りです。

・ 宿泊利用 228 人

② 農産物の収穫・販売をしました。

・ 椎茸 ・ 栗 ・ ブルーベリー ・ 梅

収2の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
事業収益	1,878,375	宿泊・体験（53.2万）、BBQ（104.9万）、農産品（29.6万）
受取補助金	1,400,000	観光庁（140万円）
雑収入	6,290	九電賃料
収入合計	3,284,665	

人件費計	117,332	
物件費計	3,088,024	
支出合計	3,205,356	

（収入）3,284,665 円 － （支出）3,205,356 円 ＝ 79,309 円

6 受託調査事業（収3）

阿蘇草原再生野草地環境保全計画調査事業（環境省、通称「牧野カルテ」）について阿蘇草原再生協議会会員で国立公園内の牧野組合を対象とした環境省による調査事業で、草原文化（草原の活用、地名、希少動植物等の調査）及び草原再生（野焼き作業軽減の為に防火帯整備等の調査）の調査に取り組みました。

今回の調査対象牧野は、赤水、狩尾南山（阿蘇市）、田の原、波居原（南小国町）、上田第一（小国町）、白川、夜峰山・御竈門山地区（南阿蘇村）の7牧野で実施しました。

収 3 の収支決算は次の通りです。

科目	金額（単位：円）	備考
事業収益	29,791,300	環境省入札(牧野カルテ事業)
収入合計	29,791,300	

人件費計	9,390,095	
物件費計	14,981,650	
支出合計	24,371,745	

(収入) 29,791,300 円 － (支出) 24,371,745 円 ＝ 5,419,555 円

7 受託管理事業（収 4）

（1）事業の内容

環境省の「草原学習館」の施設管理を受託してるほか、阿蘇市の「草原情報館」の外構部の草刈りを受託しています。それぞれ下記のような施設概要で、「草原情報館」においては阿蘇テレワークセンターと連携して管理運営にあたりました。「草原学習館」では財団で施設、警備、清掃、日常管理、総合窓口、来客者対応、案内、展示物管理、イベント実施、情報提供ホームページ管理等を行ってきました。

・草原学習館来館者・利用者数 10,619 人 （昨年度 9,800 人）

（2）施設の概要

①環境省「草原学習館」

- ・規模：建築面積 806.28 m²、延床面積：684.37 m²
- ・構造：木造平屋建て
- ・機能：レクチャールーム、展示、屋外作業スペース、事務室、トイレ、倉庫
- ・駐車場：普通車 33 台、身障者用 1 台、大型バス 2 台

草原学習館でのイベントの実施状況

期 間	内 容	主 催	人数
R6. 4/1～6/30	四半期展示：「牛と生き物の関係」	草原学習館運営会	－
R6. 4/15～5/15	ASO 草原フェスティバル写真展	阿蘇グリーンストック	－
R6. 6/29	紙すき体験短冊づくり：「七夕かざりをつくろう」	草原学習館運営会	48
R6. 7/1～9/30	四半期展示：「阿蘇の盆花」	草原学習館運営会	－
R6. 7/20～8/25	夏休みお楽しみ企画	草原学習館運営会	27
R6. 7/20～8/31	「阿蘇の風景」	写友会	－
R6. 10/1～12/31	四半期展示：「輪地切り・輪地焼き」	草原学習館運営会	－

R6. 10/20～11/17	「熊本の里山の鳥」	日本野鳥の会熊本県支部	-
R6. 11/23	ASO 草原フェスティバル 2024	ASO 草原フェスティバル 2024 実行委員会	1,300
R6. 12/14～1/19	草原ぬり絵コンテスト展示 (南阿蘇・高森・西原)	草原環境学習小委員会	-
R7. 1/1～3/31	四半期展示：「阿蘇の草原」野焼き	草原学習館運営会	-
R7. 1/25～2/24	草原ぬり絵コンテスト展示 (阿蘇・小国)	草原環境学習小委員会	-
R7. 2/22	草原ぬり絵コンテスト表彰式	草原環境学習小委員会	41
R7. 3/22	製作体験：「バードコールを作ろう」	草原学習館運営会	52

収 4 の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
受託管理事業収入	8,650,900	草原学習館 (805 万)、草原情報館草刈り (60 万)
収入合計	8,650,900	

人件費計	2,938,361	
物件費計	2,020,595	
支出合計	4,958,956	

(収入) 8,650,900 円 － (支出) 4,958,956 円 ＝ 3,691,944 円

7 法人会計

月次決算等、会計処理については公認会計士に委託して運営しました。維持賛助会員が 118 名となり昨年度の 68 名から倍増しました。新規のボランティアや、ボランティアをやめる方が多く会員になっていただいています。また企業からの会費の口数も若干増加しました。

法人会計の収支決算は次の通りです。

科目	金額 (単位：円)	備考
基本財産運用益	400,000	20 年国債 (金利 1.6%) 2030 年まで
維持賛助会費	3,211,000	個人会員 118 名 (45 万円) 団体会員 50 企業団体 (276 万円)
受取補助金	0	
雑収入	284,870	講師報酬、費用弁償他
収入合計	3,895,870	

人件費計	2, 163, 865	
物件費計	2, 596, 759	
支出合計	4, 760, 624	

(収入) 3, 895, 870 円 － (支出) 4, 760, 624 円 ＝ △864, 754 円

二. 2024 年度収支決算について

(1) 上記のとおり事業全体としての経常利益は下記の通りです。

(収入) 132, 664, 546 円 － (支出) 132, 563, 498 円 ＝ 101, 048 円

(2) 公益事業比率は、91, 768, 784 円 ÷ 132, 563, 498 円 ＝ 69. 23%

となります。